

太田生涯学習報

# はばたき

■発行/秋田県大仙市教育委員会 太田公民館  
TEL0187-88-1119

## 目次

表紙 ・ 冬季少年少女野球教室、秋田県仙北地域  
公民館大会、鈴木空如展  
館長あいさつ

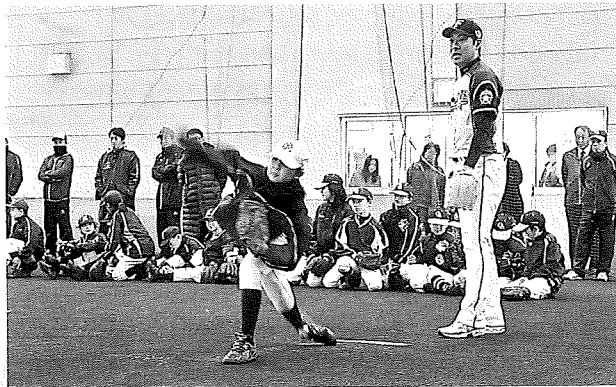
おおた花の会、花いっぱい運動表彰・・・2P

市芸術文化賞、秋田県仙北地域公民館大会・3P

太田公民館 写真で振り返る一年間・・・4～5P

我が学び舎 この一年・・・6～7P

チャレンジデー in大仙・・・8P



「冬季少年少女野球教室」  
日本一の「北海道日本ハムファイターズ」伊藤剛コーチから  
教えて頂きました。



「秋田県仙北地域公民館大会」  
大仙、仙北、美郷の生涯学習活動を発表しました。



「鈴木空如展」今年法隆寺管長の  
大野玄妙氏からも観覧して頂きました。



## 館長あさの

暖かな日差しの中、新しい季節の訪れ  
が感じられます。  
今年度、市教育委員会では「地域活性化に寄与できる子どもの育成」を目指し、児童生徒が地域行事への参加を通じてふるさとに気づいてもらえるよう学校、園、公民館等が連携し様々な取り組みをしてきました。郷土の自然や風土の中で育まれた豊かな人間性と感性を培い、将来ふるさとで活躍してくれる日を願っています。

さて、公民館でもさまざまな生涯学習活動を行っています。その中に家庭教育学級があります。これは昭和39年(1964)に各小中学校PTAを対象とした合同学習会が始まりました。その後、幼稚園及び保育園児を持つ保護者と年数回の子育て学習会を開催してきました。

家庭教育学級では、今しかないこの時を大事に子どもとたくさん触れ合っほしいと話してきました。子どもが初めてのかかわりをもつのが家族であり、子どもの「生きる力」を育てるのが家庭の大きな役割です。

この頃は、地域内のつながりも少なくなつたように感じますが、限られた時間でどのような地域連携ができるのかという課題もある中、家庭、地域で子どものしつけや生きる力はきちんと身に付けさせたいものです。

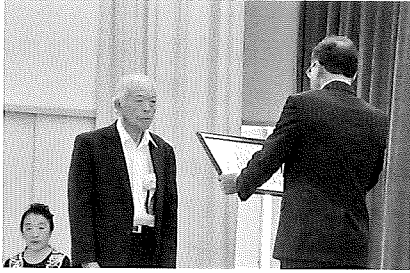
2年間公民館にお世話になり、地域活動や学校行事で子どもたちの元気な姿からたくさんパワーをいただきました。あちらこちらで子どもの明るい声が響き、ふるさとに誇りを感じる子どもを育てる事業が地域で進められるよう期待しています。

最後になりましたが、情報、写真をご提供していただきました皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

太田公民館長

煤賀康典

## 「おおた花の会」が20歳になりました。



花の会を牽引してきた小松國男会長、黒田正明副会長、大信田祐子副会長、後藤光三事務局長に市より感謝状が贈呈されました。



元太田中学校校長の黒澤一紀氏より「山の麓に太田あり」という演題で講演をしていただきました。

花のまち太田の「花いっぱい運動」を牽引してきた「おおた花の会」は、今年設立20周年を迎えました。

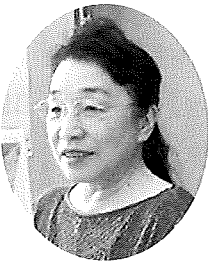
おおた花の会（小松國男会長・会員64名）は平成9年4月、74名の会員で設立されました。花や自然を慈しみ、家庭と地域の融和を図り、心のかよう地域社会を目指し、町を訪れる人々をいっぱいの花でおもてなししようと活動を展開しています。会員の相互の交流を進めながら、技術研修会やモミガラ培地作り、太田花だんフェアの開催、水仙ロードの拡大などに取り組んでいます。

8月28日（日）、秋田県花いっぱい運動の佐竹睦子会長や大仙市吉川正一教育長など多くのご来賓の皆様においでいただき、太田中学校体育館を会場に設立20周年を祝う記念式典が開催されました。

記念式典では、功労者4名に市から感謝状が贈られました。また、太田中学校生徒の花いっぱい活動の報告会、記念講演では元太田中学校校長の黒澤一紀氏による講演があり、おおた花の会20周年に花を添えました。

これからも太田地域に花で彩り、心の活性化役として期待されています。

## “おおた花の会”に携わって20年 大信田 祐子



あっという間の20年。今改めて思うとちょっと侘しい気持ちになります。毎年気を張って予定の行事をやり遂げていく、その結果がどのように出るのかで、胃がチクリ痛む時も多々ありました。また、何をするにも一番大変なのがチームワーク。会の「和」が乱れないように…。このような事で頭を悩ましながら会員の皆さんの協力を得て20年間役員として会の運営を頑張ってきたことが出来ました。感謝に尽きません。様々なことがあった20年ですが、今年一年は今までやってきたことがギュッと詰まった一年でした。

8月に行われた20周年記念式典では様々な皆様から力を頂いて無事やり遂げることが出来ました。これは会員同士が一致結束して出来たことだと思っております。大変難儀しましたが、終わった後には、疲れも心地よく感じられました。

「FMはなび」にも出演する機会がありました。旧8市町村の自慢するコーナーで“太田の花”について、花だんフェアを「秋田弁」で出来る限り宣伝をしてきました。放送の宣伝効果があったようで、大曲の花火と同日開催だった花だんフェアにも沢山の方から来て頂き、特に「お花見バス」は2日間とも満員御礼で、緊張しながら頑張ってしゃべった甲斐があったと感じられた一幕でした。

子どもたちと一緒にお花の勉強もしました。今年は太田東小2年生と一年を通じて花壇作りを一緒に汗流しました。そのことから秋田市で事例発表をする機会も与えて頂き、最高の思い出となりました。

最後にとっておきの出来事、10月に県花いっぱい運動の会より功労賞を頂きました。様々な方々から力を借り、子どもたちや地域の方たちとふれあいながら、自分も楽しみながら。私にとって最高の「古希のプレゼント」でした。

おおた花の会が次の世代に永く続いて活動できるよう、サポート役に徹しながら、そして自分も楽しみながら関わっていきたく思います。

✽太田は花の町です。いつまでも春から秋まで、継続して美しい花の町に…✽

## 花いっぱい



### 全県花だんコンクール

＜特別優秀賞＞大町ふれあい花壇（秋田魁新報社賞）

上南地域花だん（秋田県緑化推進委員会会長賞）

後藤圭子（秋田県花いっぱい運動の会会長賞）

＜モデル花だん＞太田中学校・駒場新生会・

小神成花の会（南小神成、北小神成、田ノ尻）・

認定こども園おおたわんぱくランドのびのび園

## 市芸術文化賞 功労賞 受賞！ 出原幸子さん(文芸・舞踊)



「翔舞会」太田教室で後進の指導にあたっています。地域の発表会への出演や福祉施設への慰問など舞踊を通じて地域の活性化に寄与されています。

市内の芸術文化団体の意欲を高め、活動の奨励を図ることを目的に、芸術文化活動に貢献した個人や団体をたたえる大仙市芸術文化賞。今年度は、地域芸術文化の振興に貢献された、1人が栄光賞、5人と2団体が功労賞を受賞されました。

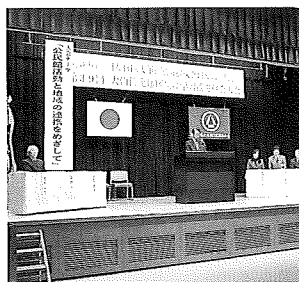
出原幸子さんは、昭和54年、日本舞踊寿流の福穂会に入会し寿福穂貴氏に師事。平成4年から

## 秋田県仙北地域公民館大会が開催されました

この度、第56回秋田県仙北地域公民館大会兼第39回大仙仙北地区生涯学習推進研究大会が太田文化プラザを会場に県、仙北市、美郷町及び大仙市からおよそ300人が集い盛大に開催されました。

開会行事では、長年生涯学習活動を積極的に行ってきた3氏1団体が表彰されました。そのうち2名は大仙地域の後藤光三さん、小田野幸子さんが受賞されました。

そのほか、元秋田県生涯学習センター所長武藤四郎氏による基調講演などがあり、盛会裏のうちに次期開催地へ大会旗が伝達されました。



開会セレモニーに先立ちアトラクションで県無形文化財指定「国見さら」が披露された

## 路会 野短歌 詠草より



豪雪の山河地帯を突破して内陸線の一輛が来る

雪晴れの八時の太陽まぶしくて目を細めつつ山を眺むる

少しだけちがう自分に会えそうなる山茶花白く古希の初空

魁の野路の短歌に心寄せ宝ばあさんとう手紙来る

白髪の調髪すみし客がする昔の話をなつかしくきく

卵の花の色というかも宵の空月を浮かべておぼろになりぬ

おいしい初めの祝いに鯛の一箸を曾孫の唇へふれさせている

柔毛もつ穂先を天に光らせて木蓮の蕾日毎ふくらむ

また一軒空家が増えてうら淋し雪は積もりて足跡もなし

鼻眼鏡かけて新聞を読む夫の傍えにわれの平穩のあり

しとしとと二月の雨がけぶりいるつつまじやかな二人の昼餉

唐突にこゑをかけられ振り向けば知らざる人がゑみてる侍らけり

老体にまだまだ行けると言いきかせスノーダンプで除雪いそしむ

冬ざれに襲う吹雪はさ庭べの杉にも白くつもりゆく見ゆ

剥きだしの大黒柱と鴨居を塗り替えてレトロがお洒落な友の家訪う

浅利 繁雄

伊藤忠次郎

大信田則子

加藤 年子

草薨 ミヨ

小松 関子

進藤美津子

鈴木 誠

鈴木農夫広

鈴木 貞子

高橋千恵子

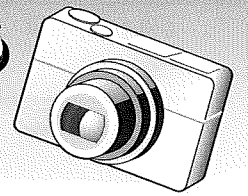
高橋 岑夫

戸澤 翼

藤原 サチ

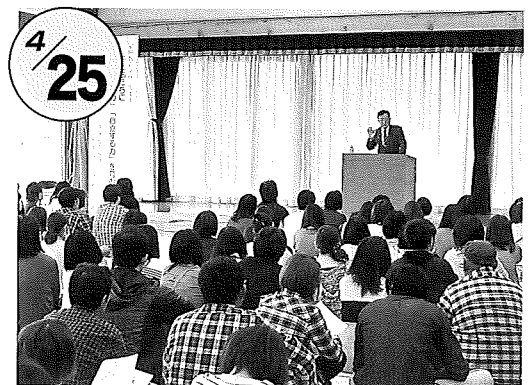
藤原ハル子

# 太田公民館 写真で振り返る 一年間



4/9

**スポーツ少年団結団式**  
一年の頑張りを誓いました。



4/25

**家庭教育学級**  
三浦前大仙市教育長からのだいじな講話。



5/1

**てくてくウォーキング**  
あいにくの天気でも、Let's Walking。



5/25

**チャレンジデー**  
ノーザンハピネットと一緒にチャレンジ!



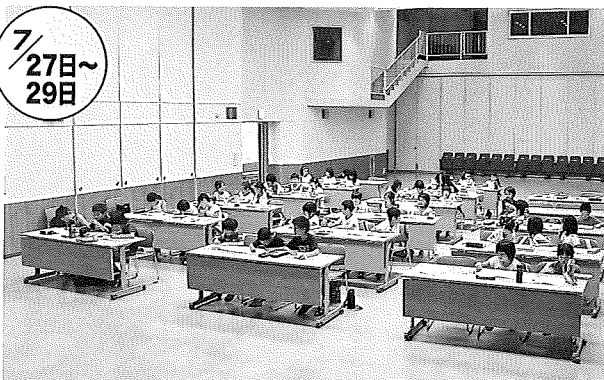
6/25

**秋田県親善ゲートボール大会太田町大会**  
全県各地から精鋭が集い、はつらつプレー。



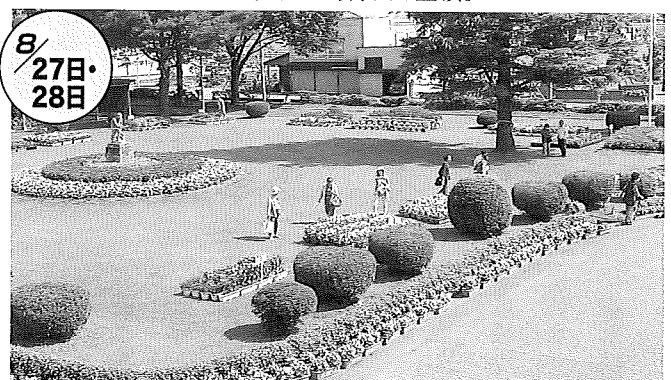
7/24

**山登り教室**  
今月は、鳥海山を登頂。



7/27日~  
29日

**学びい教室**  
静かに(?)お勉強を頑張りました。



8/27日・  
28日

**花だんフェア**  
太田といえば「花」。今年もきれいな花に出会えました。

9/5



民謡「秋田おはら節」  
全国大会  
優勝したのは地元富岡久美子さん

9/10



南部忠平杯グラウンド・ゴルフ大会  
日本一のグラウンド・ゴルフ場で全国各地からのプレーヤーが競いました。

10/8



奥羽太田ロードレース大会  
大雨でも県内外330人が力走。

太田地域の優勝者  
2km 小学1・2・3年女子の部 大信田光琉  
中学生女子の部 高貝ひかり  
5km 中学生男子の部 煤賀洋大

10/30



太田地域芸術発表会  
今年度から新たに始まりました。

11/20



ベジフル教室  
旬の野菜をおいしく頂きました。

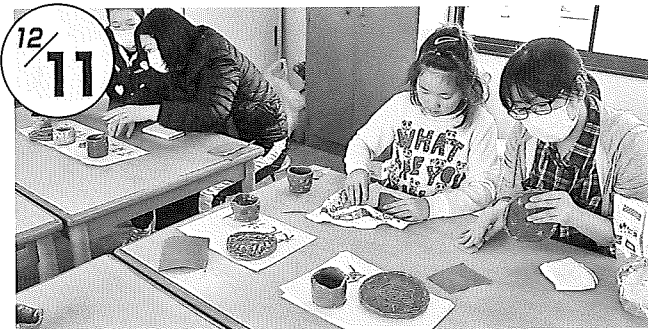
11/6



ナメコ植菌体験教室

収穫も体験し、その後はナメコ汁でおいしく頂きました。

12/11



親子陶芸教室  
世界でひとつだけのお皿。

1/20



編み物教室

誰かのために。一心不乱。

2/12



大台大回転タミヤカップスキー大会

未来の五輪選手かもしれない子どもたちが0.1秒を競いました。

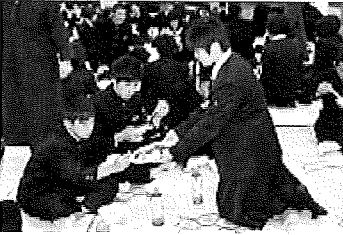
# この一年

行事から

## 太田中学校

今年度も本校では、「被災地交流」「花の里作り」「縦割りキャリア体験」を保護者や地域の皆様のご協力をいただき、無事に終了しました。ご支援ご協力に感謝申し上げます。

とりわけ部活動では、女子ソフトテニス部の郡大会初優勝やマーチング東北大会出場等々、太田地域の皆様の応援を得て大活躍をしました。また、「被災地交流」6年目を向かえ、大槌学園9年生（中学3年生）が初めて本校を訪問し「語り部」を聞いたり、お互いに合唱を披露したり、エールの交換を行ったり、昼食を一緒に食べたりと互いの絆を更に深めることができました。ご協力いただいた本地区3小学校や関係団体、地域の皆様の熱い支援に感謝いたします。



## 県立大曲農業高等学校 太田分校

太田分校では、地域交流の一環として、平成十三年から奥羽グラウンドゴルフ場を会場にグラウンドゴルフ大会を開催しています。

この大会は、スポーツに親しみ技術の向上を図ることを目的としていますが、最大のねらいは、グラウンドゴルフを通じて地域の方と分校生が世代を越えた交流を行うことにあります。十六回目となる今年の大会は、九月十三日に行われ、十代から八十代の方まで約百六十名が集まり、心地よい汗を流しました。競技は、地域の方と生徒が一緒にグループになり二十四ホールで行われ、生徒は地域の愛好者から打ち方のアドバイスを受けたり、互いに「ナイスショット」「惜しい」などと声を掛け合い、和やかな雰囲気の中でプレーを楽しみました。

地域の方と会話をし、距離も縮まるこの大会は、太田分校と地域との連携の一つの柱となっています。



## 太田南小学校

15kmの先には・・・

体力向上は、授業はもちろんですが、日常生活の中で自分が取り組み続けることが大切です。本校では、1周200mのグラウンドを走ると、運動委員会が作成した「ランニングカード」に1マスずつ自分で期日を記録していくようにしています。めあてを15km（75周）完走にしました。

また、今年度の『全校マラソン大会』を、【グラウンド&のびのび園前こども広場周回コース】にして行いました。試走を何回も行い、当日は園児がコースのそばで応援してくれました。児童にとっては、応援を受けて歩くこともなかったし、年長児は来年自分たちも走るのだと思ってくれました。今回のコースでのマラソン大会は、このあとも継続して行い、コース新



記録に挑戦するようになっていきたいと思っています。

15km（75周）の先は、大曲駅東口がゴールです。25人が達成しました。体力がつかまりました。

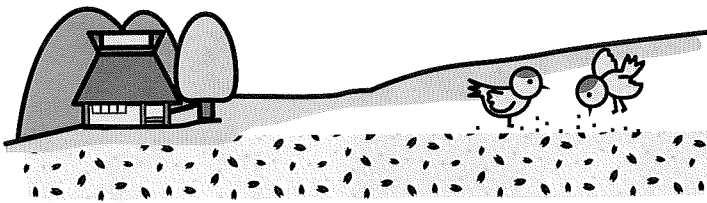
## 太田東小学校

本校では、高橋静良様から提供いただいている「なかよし田んぼ」で、5年生が中心となり、全校で田植え、稲刈り、収穫感謝祭を毎年行っています。

5月の田植えでは、裸足で泥の感触を楽しみながら、うるち米と餅米を植えました。かっこいい田植えファッションに身を包んだ保護者・祖父母の皆さんも協力くださり、放った苗を取り損ね、泥が弾けるたび笑いが起こるなど温かな交流ができました。9月の稲刈りでは、鎌で刈ったり束ねたり運んだり、役割分担して取り組み、地域の方々のはさがけてくれました。収穫したうるち米は、太田中を通じ被災地へ届けたり、お世話になった方々へプレゼントしたりしました。11月の収穫感謝祭では、5年生が米作りについて発表し、お世話になった方々に感謝の気持ちを伝えました。その後、保護者・祖父母の皆さんの協力のもと、学校所有の臼と杵で楽しく餅つきを行い、きな粉等で味付けした餅を全員でおいしくいただきました。



田んぼでの活動を通して、地域の方々と触れ合い、会話することにより「思いやりの心」を学び、「人と関わる力」や「感謝する心」を育みながら、地域のよさに触れ、地域を支えていく気持ちを培っていききたいと思っています。



# 我が学び舎

～印象に残る～

## おおたわんぱくランド“すくすく園”

0～2歳児の子ども達も生の楽器の音に触れ、お家の方と一緒に心弾む時間を…」と思い、家庭教育学級では音楽講師の菅沼理子先生に「音楽遊び」をお願いしました。

ピアノ伴奏の「さんぼ」に合わせて親子で歩いたり、「アンパンマン」の曲の速い遅い・音の強弱を感じたままに体を動かしたり、ふれあい遊びをしたりと楽しい時間になりました。また保育者も「きらきらぼし」のハンドベル演奏や大小の太鼓を叩いて、子ども達が楽器の音を聴くことに一役買いました。

子ども達が一番開放的になったのは、保護者の方とのバルーン遊びでした。カラフルなバルーンと一緒に持って歩き波のように押し寄せたり引いたり、そして最後にはその中に入ってふわふわするバルーンにジャンプしたり綺麗な色を感じて眺めたりしていました。



最後に一人ずつ『ウィンドベル』の楽器にも触れ、多い子では3～4回も繰り返して遊び、自分で奏でる音を楽しんでいました。

保護者の方からは「なかなか

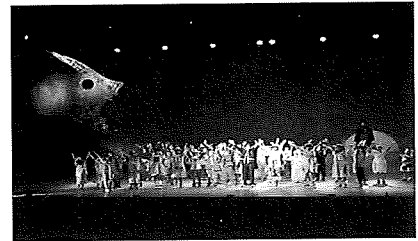
か子どもと二人で体を使って遊ぶことがないのでいい触れ合いになりました」等感想が寄せられました。

小さい子ども達ではありますが、これからも直接体験を積み重ねていきたいと思えます。



## 太田北小学校

「10年」の節目を迎えた音楽劇。何年目であろうと国見の子どもたちはいつもパワー全開です。その姿には、練習しながらいつも大人がエネルギーをもらう毎日でありました。1年目はどんな思いでこの音楽劇を行ったのだろうか。途中で挫折しかけた時はなかったのだろうか、といろいろな思いが浮かびました。しかし、1年1年積み上げてきたものが、今年はどうに進めていくか？という強いエネルギーに変わって音楽劇となります。そして台詞の一つ一つが、動きの一つ一つが子どもたちの体に植え付けられて、ステージで花開く。このような喜びは、何回も味わえるものではありません。この中でこそ子どもたちの心と体が育っていくと実感せざるを得ません。日頃の学習時とはまた違う子どもの一面も見ることができる貴重な時間であります。少子化といわれながらこうして続けてこられたこと。子ども、職員、協力者の方々、そして何よりも地域の温かい応援。その応援が喜びとして感じ取れたステージであったと思います。



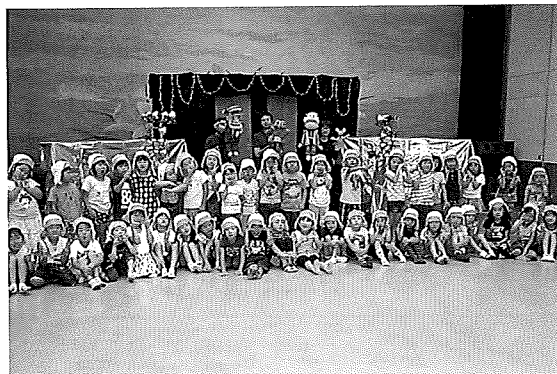
さらなる飛躍に向けて、踏み出した10年目の音楽劇であります。

## おおたわんぱくランド“のびのび園”

おおたわんぱくランド」・「せんぼくちっころんど」・「なかせんワイワイらんど」の3園は、平成28年度大空大仙が実施する夢事業に参加することになり、5歳児交流会を行うことにしました。

3園5歳児交流会は「共通体験を通して友達との関わりや表現活動を楽しむ」をねらいとして、会場も3地域に設けることにし、スタートは太田文化プラザでした。内容も1回目は劇団を呼んでの人形劇観賞、2回目は各地区の芸能発表ということで「よさこい」を踊り、3回目は発表会で演じた「ももたろう」と「ともだちや」の劇を披露しました。3園の園児が交流できるゲームや歌なども取り入れたことで、3回目になると友達もでき声をかけ合っている姿も見られました。この事業のおかげで、「よさこい」の法被を準備することができ、運動会で初披露した時は保護者の皆さんからも「カッコイイ！」と好評をいただき、子どもたちも大喜びでした。夢事業は1年で終わりますが、地域を超えての交流は、のびのび園の園児と保育者にとっても良い刺激となりました。

大仙市のホームページ「ふるさとこんにちは」にも、掲載されておりますので、興味のある方はご覧になって下さい。



今年も体を動かしましょう

# チャレンジデー in 大仙

## 5月31日(水曜日)



今年度の対戦相手は…「山梨県甲斐市」「鹿児島県霧島市」

2017年は、な、な、なんと三つ巴の戦いが決定しました!まちとまちとがスポーツ(運動)を実施した住民の参加率を競うチャレンジデー。

今年も「スポーツの力で日本を元気に!」をスローガンに、体を動かして、みんなで参加し、地域を元気にしましょう。

どんな運動でも構いません  
太田のパワーを全国に見せましょう

### 自宅でも、職場でも、田んぼでも

自分の好きな場所で参加しましょう

### 太田公民館が移転完了!

長年太田地域の生涯学習の場として愛されてきた旧太田公民館(生活改善センター)の一部を解体してきました。大仙市では、公共施設のあり方について見直しをはかっており、太田地域では、市民の将来負担を増やさないよう、今ある施設を有効に活用しようとする公民館機能の支所内移設に取り組みました。

この取り組みを受け、施設の維持管理費の削減、築50年近い老朽化した建物の安全性を考慮し、旧太田公民館の一部を解体したものです。

かつて結婚式や披露宴も行ったことのある公民館の解体。さみしいですが、これからの太田地域のため。今後は、庁舎と文化プラザを今まで以上有効利用できるよう大規模改修工事を計画しています。



解体前の旧公民館



解体後の旧公民館  
現在、空き地は雪捨て場として利用

### 佐々木貞勝先生 ご逝去

太田町駒場出身で日本民謡協会相談役をつとめた「佐々木貞勝」先生が昨年7月にご逝去されました。日本の民謡の発展にご尽力されてきた貞勝先生はその功績をたたえ、平成22年に大仙市民賞を受賞されています。「秋田おほら節全国大会」でも長年審査委員長を務めてきた貞勝先生。民謡の宝庫秋田の民謡文化を盛り上げたいという貞勝先生の意志をふるさと太田で引き継いでいきたいと思っております。ご冥福をお祈りいたします。

29年の文化講演会のお知らせ

H29 4/16 (日)

### 文化講演会

演題:「高畑万歳!」 出演:高畑万歳保存会

時間=午後2時30分~/場所=太田生活改善センター (旧太田公民館)

代表 土田英夫 ほか